



内閣府

# 明治 150 年記念「世界青年の船」事業の概要

## 1. 目的

明治維新から 150 年となり、我が国が世界から学ぶ立場だった「岩倉使節団」から、世界に「日本の強み」を還元し、伝える立場となった。明治 150 年を機に、明治期に生きた人々の拠り所となった歩みや精神を捉え、「日本の強み」を改めて認識し、世界に発信していくことは、我が国が更なる発展を遂げる上で重要である。

世界に目を転じれば、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、その対応を牽引・指導する次世代リーダーが求められている。こうした観点から、明治 150 年記念「世界青年の船」事業（以下「世界青年の船」という。）は、多様なバックグラウンドを持つ参加青年が、優れた技術や文化等日本の強みについての知識を習得・発信し、世界各地から集まった外国青年とのディスカッションや文化交流、参加青年主体のワークショップ等を通して、異文化対応力、コミュニケーション力、リーダーシップ、マネジメント力の向上を図るものとする。

本事業は、日本が強みとする各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年を育成するとともに、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目的とする。

## 2. 事業内容

日本と世界の 10 か国の青年が、6 日間の陸上研修及び 34 日間の船上研修（寄港地活動を含む。）に参加し、ディスカッションやセミナーなどの各種の研修や交流活動を行う。

### (1) 陸上・船上研修

ディスカッション、セミナー、ナショナル・プレゼンテーション  
（各国事情紹介）、文化紹介活動、スポーツ& レクリエーション、  
グループ活動、自主活動など

### (2) 寄港地活動

表敬訪問、各種施設の視察、訪問国の青少年との交流など

## 3. 参加国

オーストラリア連邦、チリ共和国、エクアドル共和国、  
ギリシャ共和国、ソロモン諸島、スウェーデン共和国、  
タンザニア連合共和国、トルコ共和国、アラブ首長国連邦、  
バヌアツ共和国及び日本

## 4. 構成

- (1) 管理部門等（管理官（1 名）、副管理官（1 名）を含む）
- (2) 本事業支援業務請負業者（心理カウンセラーを含む）
- (3) 日本参加青年 122 名、外国参加青年 120 名（10 カ国×12 名）  
（参加青年数には、各国代表団のナショナル・リーダーを含む。）

## 5. 日程

### (1) 外国参加青年来日・国内活動等

平成 31 年 1 月 15 日（火）～ 1 月 20 日（日）

(2) 日本参加青年出航前研修 1 月 19 日（土）～ 1 月 20 日（日）

(3) 陸上研修 1 月 21 日（月）～ 1 月 26 日（土）

(4) 船上研修（寄港地活動を含む）1 月 27 日（日）～ 3 月 1 日（金）

※寄港地：那覇、パラオ（補給）、ダーウィン（豪州）、  
ブリスベン（豪州）、ソロモン諸島（給水）

### (5) 日本参加青年帰国後研修

3 月 1 日（金）～ 3 月 2 日（土）

